

次亜塩素酸水

次亜塩素酸水は除菌・消臭効果、保存性に優れ、皮膚への刺激を抑えた「中性電解水」です。

口に含んでも安全
除菌・消臭に

除菌

次亜塩素酸は塩素系消毒剤の中でも最も除菌効果が高く一般的な細菌・ウイルスのほか、薬剤耐性の高いノロウイルスなどにも除菌効果が期待できます。

消臭

アンモニア臭や雑菌臭を原因物質から分解・除去します。



長期保存可能

常温密閉で約三か月間ご使用いただけますので「すぐに使う」と焦りや「使う前に振る」といった手間も不要です。冷蔵庫等で保管する必要もございません。

安心・安全

高い消臭・除菌効果を保っているのに原材料は「食塩」と「水」だけ。液性が中性のため手や肌への刺激も少なく、ペットやお子様も舐めても安全です。

「次亜塩素酸水」ってなに？

電解水とは水を電流で分解してできる水溶液の総称です。それらは「強酸性」「弱酸性（微酸性）」「中性」などに分けられ、それぞれに特色があります。

「強力な殺菌力」
を持ちつつ
「人体には優しい」
は可能なんです！

強酸性は殺菌作用が優れているため医療現場を中心に使用されていますが、環境汚染の懸念や金属を腐食させてしまうデメリットがあるので用途が限られてしまいます。

逆に弱酸性の場合そのデメリットは緩和されますが、それでも金属腐食の難点は残ります。

そんな強酸性・弱酸性の欠点を補う電解水として注目されているのが「中性電解水」です。

電気分解により生成される次亜塩素酸により強い殺菌作用を発揮します。

さらに長期間維持することが可能です。

次亜塩素酸は次亜塩素酸ナトリウムに比べ数10倍の除菌効果を持つとされています。

金属への腐食度合も強酸性・弱酸性より穏やかであるのが中性電解水の特長です。

次亜塩素酸水とはそんな中性電解水を用いた除菌・消臭用のお水です。

電気分解より生成された次亜塩素酸によりウイルス等の微生物に即効性があり、効果を発揮した後は分解して希薄な食塩水に戻るため人体・環境には優しく、簡易・多用途に使用できます。

「次亜塩素酸水」の使用例



手洗い・うがい・口臭予防

- ・口腔内のすすぎやうがいに
- ・口臭・虫歯予防に次亜塩素酸水で口の中を拭くまたは歯ブラシをする

インフルエンザ・ノロウイルス等の感染予防

- ・石鹸でよく洗う→次亜塩素酸水でうがい
- ・吐瀉物からの感染防止
→吐瀉物を片付けた後に次亜塩素酸水をスプレー
- ・日常空間を次亜塩素酸水での拭き掃除やスプレーの散布

キッチン周りの除菌消臭、その他

- ・食器・調理器具の洗浄（まないた・包丁・水切りバットなど）
- ・スポンジ・布きんの付け置き除菌
- ・消臭（排水溝・三角コーナー・ゴミ箱）
- ・布製の家具の消臭・除菌
- ・空気中の気になる臭いの消臭

より効果を得る為に、
水道水でよく洗浄した
後に次亜塩素酸水を
ご使用することを
お勧めしています。

●ご使用上の注意点

「中性電解水」は有機物と接触すると、徐々に希薄な食塩水に戻ってしまいます。そのため除菌対象物の「汚れ」は事前に除去した上でご使用ください。

「中性電解水」は微量の食塩を含みます。腐食予防のため金属製品の長時間の接触は避け、接触後は水道水で洗浄いただくことをお勧めします。

本製品は医療機器では
ございません。

「次亜塩素酸水」消臭効果について

～各臭気物質に対する次亜塩素酸水の有効性～

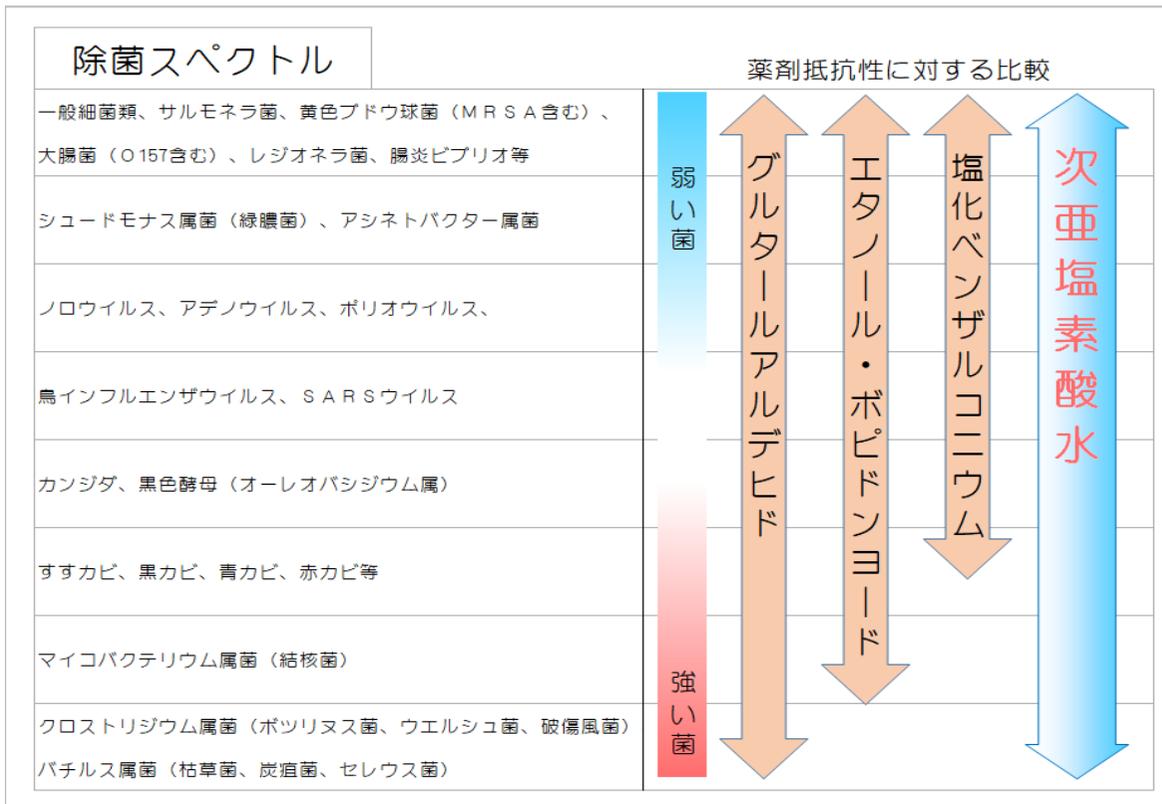
- 細菌由来の腐敗臭や食品由来の臭気対策に即効性
- 根本から臭気を分解するため、乾燥後に臭いが再発しない
- 除菌効果もある事から臭気発生源である微生物処理にも有効

| 臭気物質 | 悪臭源 |
|-----------|---------------|
| アンモニア | 尿、肉の腐敗臭 |
| トリメチルアミン | 魚の腐敗臭 |
| 硫化水素 | 腐卵臭 |
| メチルメルカプタン | たくあん臭、腐敗タマネギ臭 |
| アセトアルデヒド | たばこ臭 |

全てに有効

次亜塩素酸水と他の消毒薬との比較

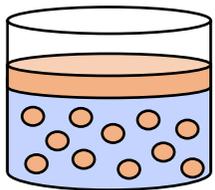
現在病院をはじめとしてよく使われている消毒薬の特徴をまとめ、次亜塩素酸水との比較を行いました。この表からも次亜塩素酸水の有効性、使い勝手の良さをお分かりいただけたと思います。



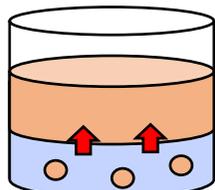
| 主成分の一般名 | 次亜塩素酸水 | 次亜塩素ナトリウム (希釈したハイター) | エタノール | ポピドンヨード (イソジン) | |
|----------|---|---|--|--|---------------------|
| 消毒部位 | 手・指皮膚 | ○ | △ | ○ 原液 (一定量) | × |
| | 粘膜 | ○ | △ | × | × |
| | 創傷 | ○ | × | × | × |
| | 機械器具 | ○ | ○ 300倍 | ○ 原液 (30~60分以) | × |
| | 室内 | ○ | △ | △ | × |
| | 口腔 | ○ | × | × | ○ 30~15倍 (30秒以上) |
| 有効菌種 | MRSA | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 一般細菌 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 結核菌 | ○ | △ | ○ | ○ |
| | HBV | ○ | ○ | × | × |
| HIV | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 耐性菌による汚染 | ない | ない | ない | ない | |
| 希釈の必要性 | ない | ある | ない | ある | |
| 金属の腐食 | ある (微) | ある (少) | ある (少) | ある (少) | |
| 毒性 | 小 | 中 | 中 | 中 | |
| 取り扱い注意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ◆残留性がない ◆反応性に富むため大量使用を心掛けること | <ul style="list-style-type: none"> ◆漂白作用あり ◆原液は強アルカリ ◆酸との混合は不可 ◆手荒れ | <ul style="list-style-type: none"> ◆火気厳禁 ◆刺激作用 ◆揮発性 ◆手荒れ | <ul style="list-style-type: none"> ◆着色、臭い ◆ヨード過敏症の患者には不可 | |

塩素臭が少ない

●強酸性水（精製直後）



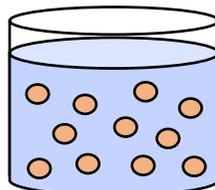
□次亜塩素酸
→ 8割
□塩素ガス
→ 2割



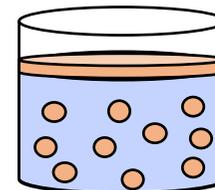
□次亜塩素酸
→ 減少
□塩素ガス
→ 増加

※界面付近でガス化が誘発され、水中の次亜塩素酸濃度が低下する。

●中性電解水（精製直後）



□次亜塩素酸
→ ほぼ10割
□塩素ガス
→ 希少



□次亜塩素酸
→ ほぼそのまま
□塩素ガス
→ 微量増加

※ガス化の反応が少なく、安定して水中にとどまる。

各種電解水との比較表

| | 次亜塩素酸 | 強酸性電解水 | 微酸性電解水 | オゾン水 |
|------|---|--|---|--|
| 水の性状 | <ul style="list-style-type: none"> ・中性付近 (pH7~6.8) ・ORP(酸化還元電位)700~800mV ・有効塩素濃度 30ppm以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・強酸性 (pH2.7以下) ・ORP 1000mV以上 ・有効塩素濃度 2~20ppm程度 | <ul style="list-style-type: none"> ・弱酸性~中性(pH4~6.5) ・ORP 850~900mV ・有効塩素濃度 30ppm以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・オゾン溶解水 ・濃度は各メーカーにより異なる |
| 有効成分 | 次亜塩素酸(存在比率高い) | 次亜塩素酸(塩素ガス成分が多い) | 次亜塩素酸 | オゾン |
| 保存性 | 3ヶ月、冷暗所では一年以上 | 1~2週間 | 2~3週間 | 1~2時間 |
| 原料 | 食塩水(水は精製水使用) | 食塩水 | 専用添加剤(希塩酸/希塩酸+食塩水) | 水道水 |
| 腐食性 | ステンレス製品(SUS304、316)は問題ないレベル | 酸との相乗効果で非常に錆びやすい ステンレスでも錆びてしまう | 強酸性電解水より腐食は少ない | 非常に強い |
| 刺激性 | 粘膜への刺激・歯への影響は非常に少ない | 粘膜・創傷などに微刺激性がある 塩素ガスの刺激臭が大きい | 強酸性電解水より刺激性は少ない | 粘膜への刺激は強酸性水より少ない |